

参加無料

先着50名

対象：今治市内の
市民・学生

申込
フォーム



未来の 技術



未来の 船



ハイブリッド旅客船
「HANARIA」寄港

第95回 海洋教育フォーラム in 今治

会場 今治港第二棧橋「HANARIA」船内 2024.11.23 Sat 13:00-15:00 開場 12:30

- 講演 ① 内航船のデジタル技術と自動化技術 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 特別研究主幹 平田 宏一氏
② 日本における自動運航船の取り組み 株式会社日本海洋科学 執行役員 運航技術グループグループ長 桑原 悟氏
③ 超大型コンテナ船の紹介 日本シップヤード株式会社 基本設計部 部長 紙田 健二氏
④ 推進プロペラの最新技術 ナカシマプロペラ株式会社 営業本部 国内営業部 営業グループ次長 浅田 允氏

パネルディスカッション ファシリテーター 愛媛大学大学院 理工学研究科工学部附属船舶海洋工学センター長 田中 進氏

最新情報
掲載中!



主催 日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会

後援 愛媛県今治市／今治地区海運組合／国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所
一般社団法人日本船用工業会／一般財団法人日本船舶技術研究協会／一般社団法人海洋共育センター
一般社団法人内航ミライ研究会／国立波方海上技術短期大学校／独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構



プロフィール

① 内航船のデジタル技術と自動化技術



講師

平田 宏一 氏

東京都出身。1990年埼玉大学工学部機械工学科卒業後、当時の運輸省船舶技術研究所の研究官として勤務。組織変更等を経て、現在は国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 特別研究主幹。同研究所のGHG削減プロジェクトチームや自動運航船プロジェクトチームにおいて、船舶のカーボンニュートラルや自動運航システムの研究などに従事。

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所
海上技術安全研究所 特別研究主幹

② 日本における自動運航船の取り組み



講師

桑原 悟 氏

日本郵船株式会社 船長（現在、株式会社日本海洋科学出向）。（公財）日本財団が推進する無人運航船プロジェクト「MEGURI2040」における国内53社で構成するDFFAS+コンソーシアムのプロジェクトディレクター。数多くの自動運航船PJを主導し、国内外の自動運航船議論に参加。

株式会社日本海洋科学
執行役員 運航技術グループ グループ長

③ 超大型コンテナ船の紹介



講師

紙田 健二 氏

今治造船株式会社に入社して以来、30年以上設計に従事。2021年に今治造船株式会社とジャパン マリンユナイテッド株式会社によって設立した日本シップヤード株式会社に所属し、同じく設計に従事。

日本シップヤード株式会社
基本設計部 部長

④ 推進プロペラの最新技術



講師

浅田 允 氏

広島県福山市出身。神戸商船大学（現・神戸大学海事科学部）海洋電子機械工学課程を卒業後にナカシマプロペラ株式会社へ入社。新造船だけでなく、就航船における新しいビジネスの構築に取り組んでおり、これまでの業務に加え、新たな分野へも挑戦している。中学1年生・小学6年生・小学2年生の3児の父。

ナカシマプロペラ株式会社
営業本部 国内営業部 営業グループ 次長



九州大学工学部造船学科卒業、九州大学、株式会社三井造船 昭島研究所、広島大学を経て、2019 年より愛媛大学。船の操縦・制御、天然ガスハイドレート輸送、錨鎖などの艀装品、造船所内の物流管理に関する研究・開発に従事。

ファシリテーター 田中 進 氏

愛媛大学大学院 理工学研究科 工学部附属船舶海洋工学センター長

ハイブリッド旅客船「HANARIA」



HANARIA【全長33m /全幅10m /総トン数238t/定員100名/水素&バイオディーゼル燃料ハイブリッド/電気推進船 (EV)】
水素とバイオディーゼル燃料から発電した電力で航行する電気推進船であるHANARIAは2024年4月から営業を開始した。日本で初めての推進システムで従来船と比較してCO₂を53～100%削減可能な最新鋭船。
船内は98インチの大型モニタやプロジェクタが設置され、移動手段だけに留まらない幅広い活用が可能。

会場アクセスMAP

今治港第二棧橋（今治市片原町1丁目） ※駐車は今治港有料駐車場、または近隣の駐車場へお止めください。

